

平成30年度進行管理・評価シート
向日市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成30年8月23日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観法、屋外広告物法に基づく連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 大極殿整備計画事業	3
2 竹の径景観保全事業	5
3 桜の径景観保全事業	6
4 長岡宮跡周辺道路美装化事業	7
5 歴史文化交流拠点整備事業	8
6 情報案内板設置事業	10
7 長岡京・平安京連携事業	11
8 長岡京広報・PR事業	12
9 向日市文化資料館企画展示実施事業	13
10 歴史資源調査活用事業	14
11 市民歴史活動連携事業	15
12 長岡京を活かしたまちづくり支援事業	16
地域歴史ボランティア養成事業	
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること	17
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、 文化財の防災に関すること	18
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への 助成・支援や連携・協力した取組みに関すること	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
向日市歴史的風致維持向上協議会の開催			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	「向日市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。 本計画の実現に向けて、ふるさと創生推進部企画広報課、建設部都市計画課及び教育部文化財調査事務所が事務局となり、庁内関係各課で組織されている「向日市歴史まちづくり庁内推進会議」において、計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
学識経験者、地元関係団体、行政(国、府、市)により構成される「向日市歴史的風致維持向上協議会」を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業内容について意見を聞くことができた。開催回数 2回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
平成30年6月28日(木) 平成30年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会開催 【内容】向日市歴史的風致維持向上計画 軽微な計画変更について			
		平成30年度 第1回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子	
平成31年2月27日(水) 平成30年度第2回向日市歴史的風致維持向上協議会開催 【内容】(1)向日市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について (2)平成31年度実施予定事業の主なものについて (3)向日市歴史的風致活用国際観光整備計画について (4)向日市歴史的風致維持向上計画の軽微な計画変更について			
		平成30年度 第2回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子	

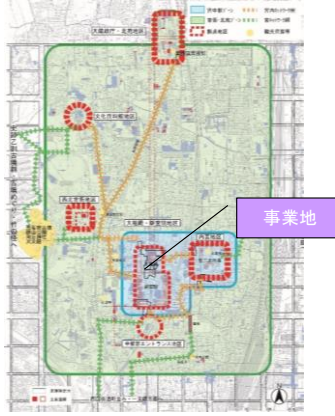
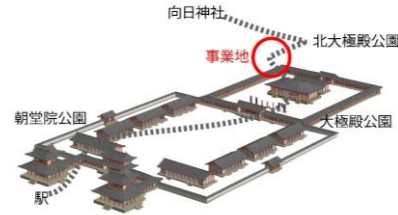
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
景観法に基づく連携 屋外広告物法に基づく連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	景観計画の策定の中で、景観計画区域を市域全域に位置付け、本市の特徴を「歴史的景観」「自然的景観」「市街地景観」の3つに分類し、それぞれの地域特徴に応じた景観形成に努めることとしている。 このうち特に、向日丘陵の自然景観、向日神社や西国街道沿いの歴史的景観、阪急西向日駅周辺の良好な低層住宅地景観などは本市として守っていき、また、良好な景観を形成していくべき地区であることから、「景観重点地区候補地」に位置付けることを検討している。 なお、景観計画は、この歴史的風致維持向上計画の内容を反映したものとし、歴史的風致の維持向上にも期するものとする。 また、屋外広告物は、景観に対する影響が大きいことから、景観計画の中で、屋外広告物に対する考え方を整理し、向日市らしい屋外広告物の施策を調査・研究することとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上計画との整合においては、地域特性に応じた規制誘導が必要である。 しかし、地域特性に応じた規制誘導については、地域住民の協力・理解が必要不可欠である。 そのため、地域住民との合意形成を図りながら規制誘導を定める手法として、都市計画法に基づく地区計画制度の活用が重要となる。 今年度から、既存住宅地では初となる取組として、西向日自治会及び西向日の桜並木と景観を保存する会による地区計画策定について、支援業務に着手したところである。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		本市では、新たなまちづくりに付随して地区計画を定めた地域は洛西口東地区などで事例があるが、既存住宅地で地区計画を定めた事例はありません。 歴史的風致維持向上計画と整合を図るためには、地区計画制度の成功事例を1つ1つ積み重ね、各地域に地区計画制度を浸透させ、地域住民が主体となった地域特性に応じた規制誘導が必要となる。 一方、本市ではJR向日町駅東口開設に関連した周辺整備やJR向日町駅東側の森本東部地区及び阪急洛西口駅西側地区における新たなまちづくりなど、まちの構造が大きく変化する事業が進められていることから、それら主要事業との調整を図る必要も生じている。	
状況を示す写真や資料等			

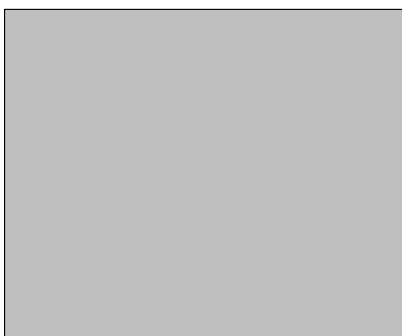
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

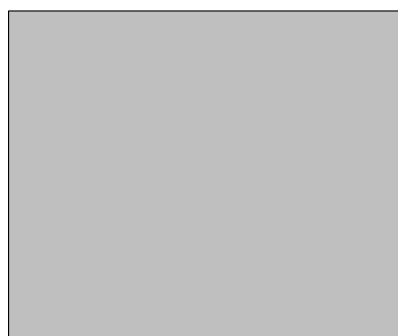
項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大極殿整備計画事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	文化財保存整備費(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	史跡公有化に伴う大極殿跡などの一体的な保存整備と活用促進を目的として、目に見えない史跡をより体感できるように遺跡表示を整備し、大極殿祭を行う顕彰の場として保全し、維持向上させる整備を行うため、計画を策定し、整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年度 史跡長岡宮跡 大極殿回廊地区保全整備工事(2か年次目)、施工監理業務、保全整備工事報告書印刷製本、保全整備工事地を取り入れた史跡めぐり、関連講演会ほか活用促進事業			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、大極殿跡を含めた史跡長岡宮跡の拡充・拡大と保全整備を実施し、地域の歴史・文化資源や公共施設、交通機関等を連結するネットワーク化を図るなど活用の促進を図る。	
状況を示す写真や資料等			
 向日市文化財活用計画図  史跡長岡宮跡を中心とした ネットワーク化計画図  歴史回廊計画図  史跡長岡宮跡大極殿地区整備計画鳥瞰図  平成29年度整備工事風景 (雨水流出抑制、南から)			



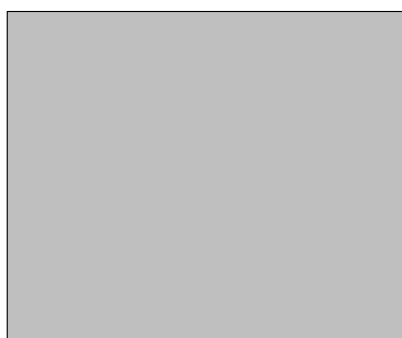
平成29年度整備工事風景（検出遺構表示、休憩施設、南西から）



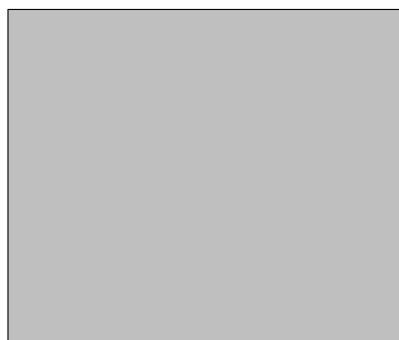
平成30年度整備工事風景



平成30年度整備工事風景



平成30年度整備工事竣工式開催風景



平成30年度整備工事竣工記念行事開催風景

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
竹の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	歴史的資源であるタケノコづくりから出る廃材などを利用し、延長約1.8kmに設置された8種類の竹垣の保全改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度整備 360.4m			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(整備前)  ➡ (整備後) 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
桜の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	桜の木の成長による根上がりから道路構造物が破損しているため、桜の木の環境にも配慮しながら、安全性の向上、歩車道空間を含めた景観保全のための道路改良や、それらとあわせた樹木の剪定、消毒、古木の伐採や植栽を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備延長 78.0m			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(整備前)  ➡ (整備後) 			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
長岡宮跡周辺道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社などを結ぶ道路について、公共交通機関である阪急西向日駅から史跡長岡宮跡のそれぞれの遺跡や向日神社を結ぶ道路の美装化(カラー舗装など)をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
阪急西向日駅前整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(整備前)  → (整備後) 			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史文化交流拠点整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	長岡宮跡周辺地区に対し、地域交流活動の拠点としての機能を向上させるとともに、通年の地域交流活動に使用しやすいよう、空調設備の新設、文化財や市民活動による作品を展示するスペース、ギャラリーなどを整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<旧上田家住宅保全整備>		・庁内プロジェクトチームでの活用検討 ・埋蔵文化財範囲確認調査 ・実施設計(耐震診断)	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧上田家住宅 家屋及び長岡宮跡内裏内郭築地回廊整備計画平面図



旧上田家住宅 利用者広場及び長岡宮跡内裏外郭築地整備計画平面図



旧上田家住宅航空写真



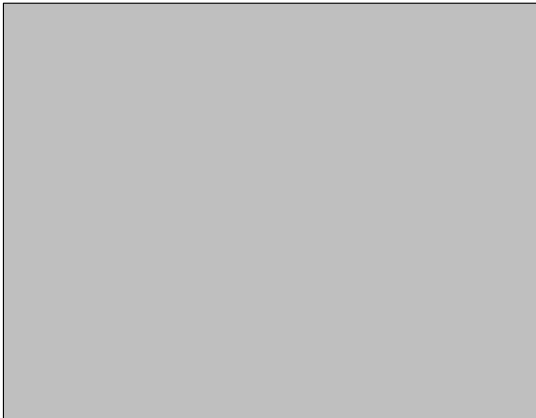
旧上田家住宅 実施設計に係る検査



旧上田家住宅 実施設計に係る検査

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
情報案内板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～平成36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	車での来訪者、公共交通機関を利用する来訪者を歴史的資源の場所へ導くための標識を主要な道路などに設置する。駅前や主要な公共施設などに、歴史・文化資源の位置を示した案内板を設置する。主要な史跡、歴史的建築物や行事などの内容を記した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「向日市歴史文化観光情報板設置計画」に基づき、市内観光周遊の拠点となる地点等に観光案内板(デジタルサイネージ)を設置した。 設置数：5基			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 設置した観光案内板(デジタルサイネージ)			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長岡京・平安京連携事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～平成36年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長岡京の次に、隣接する京都市に平安京が建都されたことから、共通するそれらの歴史や歴史的風致をキーワードとして、京都市と協働で「竹の径・かぐやのタペ」や歴史巡りウォーキングなど効果的なイベント事業を検討し、実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度実施イベント「かぐやのタペ」「竹結びフェスタ」 参加者数:「かぐやのタペ」 約35,000人 「竹結びフェスタ」 約10,000人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



＜向日市・京都市(西京区)相互交流事業＞
平成30年10月20日開催「竹結びフェスタ」

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

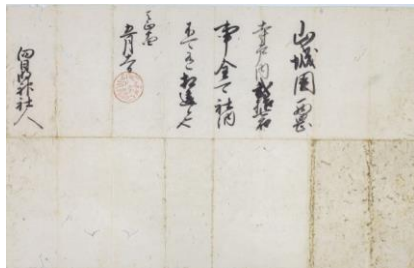
項目		評価対象年度	30年度
		現在の状況	
長岡京広報・PR事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	市単独事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	長岡京が向日市にあったことを市内外に周知し、認知度を向上するため、長岡宮跡の共通ロゴやPR看板などの作製など、広報PR活動を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
引き続き、公共交通機関を利用した広報や、ロゴマークを活用したグッズ販売を行った。 また、平成30年度は商業施設の一部で、物産展やワークショップなどの市PRイベントを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【ロゴマーク】  むこうし 向日市 古都のむこう 魅力のふるさと Muko city Kyoto-The ancient capital full of the historic charms.  ピンバッジ (1個300円で販売)  竹製ピンバッジ 市内事業者が作成・販売  むこうまんじゅう			
【公共交通機関を利用した広報】  JR向日町駅看板  阪急西向日駅看板  JR向日町駅構内			
【商業施設を利用したPRイベント】  物産展  ワークショップ			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
向日市文化資料館企画展実施事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和59年度から平成36年度まで	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史・文化のまちづくりの中核拠点となる文化資料館において、さまざまな時代における歴史・文化の企画展を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
特別展「向日神社」(平成30年10月20日から同年12月9日まで開催) 本市の市名の由来にもなった乙訓地域屈指の古社・向日神社の歴史を紹介する特別展を開催した。貴重な資料を多数借用することができ、質・量ともに充実した展示や関連事業を通じて、広範囲の郷村が共同で奉斎してきた向日神社の歴史を紹介し、向日神社のみならず、向日市・乙訓の歴史と文化を広く発信することができた。 <期間中来館者数 2,167人>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

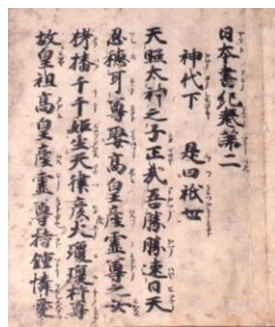
状況を示す写真や資料等



羽柴秀吉朱印状



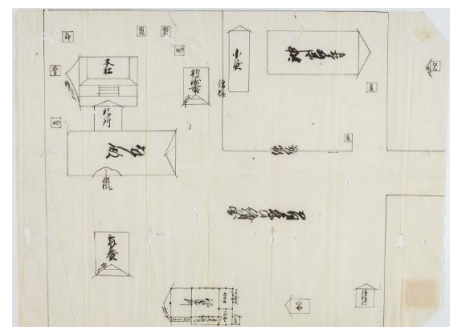
向日社旧記



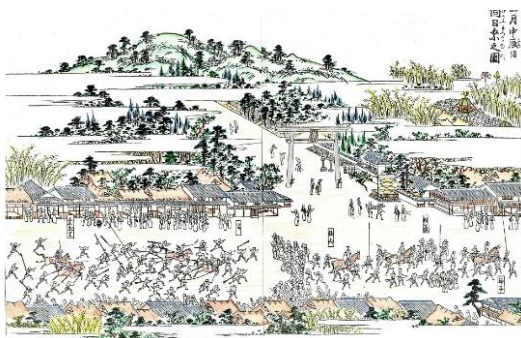
日本書紀 神代紀 下巻



六人部是香肖像



向日社境内図



向日祭之図



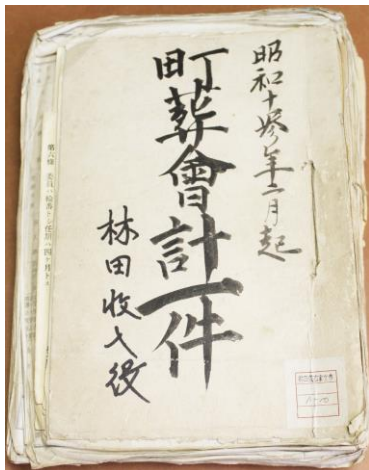
展示風景

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		平成30年度
項目		現在の状況
歴史資源調査活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和59年度から平成36年度まで	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市に点在する歴史・文化資源を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、歴史的風致形成建造物などの歴史・文化資源に関連する現地調査や歴史資料の調査整理を行うとともに、調査結果を活用し、歴史講座の開催や今後のまちづくりへの活用検討などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
テーマ展示「くらしのなかの戦争展」(平成30年7月14日から同年8月26日まで開催) 市民の方々から寄贈された戦争に関する資料を調査・活用し、テーマ展示「くらしのなかの戦争展」を開催した。小規模な展示ではあったが、新たに寄贈された資料の初公開も交え、身近な地域の日常のくらしの中にあった戦争を実感していただき、平和について考えていただく機会を提供することができた。＜期間中来館者数 2,567人＞		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



町葬會計一件



戦没者遺品



展示風景①



展示風景②

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
市民歴史活動連携事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度から平成36年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	向日市まつりなど本市で開催されるイベントと連携して行われる歴史・文化の市民活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ボランティアによって復元製作された古代衣裳を展示するとともに、着用体験や講演会等を実施することで、古代の都・長岡京の歴史と文化を発信することができた。＜参加者数:講演会40人、着用体験イベント19人＞ また、多くの人が集まる「向日市まつり」と連携して、「大極殿衣裳行列」「西岡衆武者行列」を行い、より多くの人に本市の歴史・文化に対する認知と理解を深めることができた。＜参加者数:58人(大極殿衣裳行列35人、西岡武者行列23人)＞			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



講演会「古代のファッション
—服飾からみた古代の都・長岡京—」
平成30年6月3日(日)



着用体験イベント「長岡宮の都人に変身！」
平成30年8月10日(金)



大極殿衣裳行列
平成30年11月17日(土)



西岡衆武者行列
平成30年11月18日(日)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長岡京を活かしたまちづくり支援事業 地域歴史ボランティア養成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度から平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	重点区域内で、長岡京などの歴史・文化資源を活かしたまちづくりに取り組んでいる団体や歴史・文化資源の維持・保全、活用に取り組んでおられる団体に対して、活動支援を行う。また、ボランティアとして、本市に多数存在する歴史・文化資源を説明案内する活動をしている団体に対し、さらなるボランティアの養成などを行うため、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
豊富な歴史・文化資源を有する市の魅力を市民自らが掘り起こし、そして活用し、市民主体のまちづくり活動につなげるための勉強会「むこうスタイルLABO」を実施した。2年次目となる今年度は、実際に参加者がプログラムを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
「むこうスタイルLABO」の様子			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域内に存在する指定等文化財について、文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財を市民の遺産として守り育てるという市民意識の醸成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(1)文化財調査 物集女城跡 文化財活用を目的とした地籍整備事業 1.6ha (2)文化財指定等 ①国指定史跡 乙訓古墳群 地域追加指定 答申済み 年度内指定予定 ②同上 長岡宮跡 地域追加指定 答申済み 同上 ③国登録有形文化財 旧上田家住宅 新規登録5棟 答申済み 同上 ④京都府暫定登録文化財 物忌木簡 新規登録1件 答申済み 同上 ①～④の指定等により年度内に市内の文化財は6件増え、計96件となる予定。 (3)保存管理(保全整備活用事業) 旧上田家住宅保全整備 庁内プロジェクトチームでの活用検討、埋蔵文化財範囲確認調査、実施設計(耐震診断)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、文化財を適切に保護し活用の促進を通じ、地域振興・観光振興に努め、魅力あるまちづくりに寄与する。	
状況を示す写真や資料等			
 (1)物集女城跡 測量 航空写真 南から  (2)④物忌木簡  (2)③旧上田家住宅 主屋玄関(南から)  (2)③旧上田家住宅 主屋カマド			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財は、火災や事故、盗難などにより消滅や毀損すれば、再び回復することが不可能になることがある。文化財の保存修理(整備)が必要な場合は、文化財の価値を損なうことなく損傷箇所などの修理を行う必要がある。文化財の所有者・管理者は、文化財の保存修理について深く認識し、施設の維持管理と修繕、周辺環境の整備、日常の保守点検の強化、関係機関との密接な連絡等を徹底し事故等の根絶を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(1)文化財の修理事業 (2)文化財の周辺環境整備 (3)文化財の防災(防火・防犯等) ①文化財消防訓練 向日神社(平成31年1月20日) ②文化財立入検査 向日神社、南真経寺、北真経寺 ③文化財防災設備保安点検補助 向日神社、南真経寺、北真経寺 ④文化財・防火傍点周知 向日神社、南真経寺、北真経寺			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、各種の文化財調査の修理事業、環境整備、防火防犯等の保存措置を講じる。	
状況を示す写真や資料等			
 啓発看板(市役所庁舎前)		 防火設備点検(向日神社)	
 消火器点検(北真経寺)		 自動火災報知器点検(北真経寺)	
 消防訓練(向日神社)		 初期消火活動(向日神社)	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組に関すること			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化資料館等の施設を有効に活用し、企画の充実を図るとともに、関係施設の連携を深め、文化財の資料収集や調査研究を推進するとともに、施設機能の充実と公開活用を行い、一体的な情報発信に取り組むこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1 文化財の普及啓発の取組(展示、講座、講演会、教室等) ※(1)(2)(7)(8)はH31.1月末現在 (1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」年間入館者数 12,371人 (2)史跡長岡宮跡朝堂院公園史跡案内 年間見学者数 6,859人 (3)物集女車塚古墳石室一般公開(H30.5.23～H30.5.31) 臨時公開(一般公開 427人・臨時公開 282人) (4)市民考古学講座(5回開催)・関連フォーラム(H30.8.4) 講座参加者数 450人・関連フォーラム参加者数 250人 (5)埋蔵文化財調査成果展示会「埋もれた文字～長岡京の墨書土器～」(H30.9.1～H30.10.8) 期間中入館者数 1,954人 (6)埋蔵文化財調査成果展示会展示関係講演会(H30.9.29) 参加者数 53人 (7)AR長岡宮 ダウンロード数 523回(累計10,877回) 貸出タブレット利用者 534人(累計4,564人) (8)墳タビ! 物集女車塚古墳 ダウンロード数 312回(累計4,093回) (9)発掘調査スライド大会(H31.3.2) (10)スタンプラリー(史跡めぐり)(H31.3.23) (11)史跡長岡宮跡復元体感具「ふわふわ! 朝堂in」体験者数 682人 (12)文化資料館特別展「向日神社」(H30.10.20～H30.12.9) 期間中入館者数 2,167人 (13)文化資料館特別展記念講演会 「向日神社本『日本書紀』とその世界」(H30.11.4) 参加者数 106人 「向日神社と六人部是香」(H30.11.25) 参加者数 80人 (14)文化資料館テーマ展示 「くらしのなかの戦争展」(H30.7.14～H30.8.26) 「くらしの道具展」(H31.1.26～H31.3.24) (15)夏休み子ども歴史教室「紙漉き体験で向日庵を知る」(H30.7.25・26) 参加者数 20人 (16)夏休み子ども歴史教室「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」(H30.7.27・28) 参加者数 19人 (17)歴史講座(2回) ①「地形図と地形模型が語る乙訓の近代史―大地を平面に描き、平面を立体化して探る地域のすがた―」(H30.6.17) 参加者数 89人 ②「牛車で向かう!! ―平安時代の乙訓地域―」(H30.9.2) 参加者数 87人 (18)歴史ウォーク 「江戸時代の“神輿道”を歩く」(H30.11.10) 参加者数 30人 (19)日曜談話会 「日本画家・六人部暉峰について」(H30.12.9) 参加者数 45人 「中世西岡の古文書を読む」(H31.1.13) 参加者数 18人 (20)歴史文化交流センター活用事業 ①「ふるさと発見 土器どきDAY」(H30.8.2) 参加者数 150人 ②「なんとなくがおもしろい ぶら～り向日市」(H30.12.16) 参加者数 9人 2 民間団体への助成・支援(平成30年12月末現在) (1)国登録文化財中小路家住宅 文化活動補助 40,000円 (2)大極殿遺跡保存協賛会 文化活動補助 40,000円 (3)森本遺跡保存会 文化活動補助 19,000円 (4)物集女城を考える会 文化活動補助 19,000円 (5)府指定文化財 鶏冠井題目踊保存会 後継者育成補助 35,000円 (6)市指定文化財 鶏冠井シャラボウ保存会 後継者育成補助 35,000円 3 民間団体との連携・協力(平成30年12月末現在) (1)市民団体行事及び向日市まつりでの埋蔵文化財出土遺物展示			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

1 文化財の普及啓発の取組



(1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」(通年)



(2)史跡長岡宮跡 朝堂院公園 史跡案内(通年)



(3)物集車塚古墳石室一般公開(平成30年5月23日～31日)



(4)市民考古学講座関連フォーラム(平成30年8月4日)



(5)埋蔵文化財調査成果展示会(平成30年9月1日～10月8日)



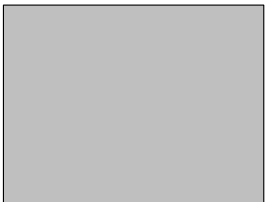
(6)埋蔵文化財調査成果展示会 関係講演会(平成30年9月29日)



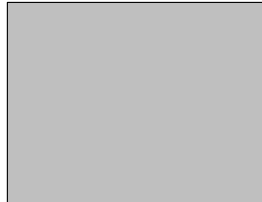
(7)AR長岡宮の活用



(8)墳タビ！物集女車塚古墳



(9)発掘調査スライド大会(平成31年3月2日)



(10)スタンプラリー(史跡めぐり)(平成31年3月23日)



(11)史跡長岡宮跡復元体感具「ふわふわ！朝堂in」



(15)夏休み子ども歴史教室「紙漉き体験で向日庵を知る」(平成30年7月25・26日)



(16)夏休み子ども歴史教室「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」(平成30年7月27・28日)



(18)歴史ウォーク(平成30年11月10日)



(19)日曜談話会「日本画家・六人部暉峰について」(平成30年12月9日)



(20)「ふるさと発見土器どきDAY」(平成30年8月2日)

2 民間団体への助成・支援



(1)大極殿祭開催状況(平成30年11月11日)



(2)森本遺跡顕彰祭開催状況(平成30年11月4日)



(3)鶏冠井題目踊披露状況(平成30年5月3日)

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度 平成30年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
桜並木眺め 音楽・散策堪能 向日で「絆コンサート」勝山中吹奏楽部演奏	H30.4.2	京都新聞
向日の勝山・西向日公園 公衆トイレ 洋風に改修	H30.4.4	京都新聞
長岡宮遺構 体験の場に 向日市 大極殿公園と北大極殿公園の一体化事業	H30.4.7	京都新聞
朝堀りタケノコ 生育期待 乙訓で出荷始まる 地元農家「これからが本番」	H30.4.10	京都新聞
竹バッジで向日PR 京銘竹製 市観光協などで販売	H30.4.10	京都新聞
デジタル観光案内板設置 JR向日町駅前“大極殿”のデザイン 周遊ルートや催し紹介	H30.5.3	京都新聞
昔の向日市 鉄道模型走る 市文化資料館で催し	H30.5.6	京都新聞
ご神体巡行 安全、豊穰祈る 向日神社で神幸祭	H30.5.11	京都新聞
継体天皇の戦略的要地 弟国宮成立1500年記念フォーラム 公益財団法人向日市埋蔵文化財センター	H30.6.27	京都新聞
史跡アプリ 昔の建物「復元」 現地の風景に重ねて表示	H30.7.8	読売新聞
古代の貴族 鮮やかに変身 向日市都人体験イベント	H30.8.11	京都新聞
初の「ここむこ向日市」開幕 イオンモール京都桂川 物産展にぎわう	H30.9.19	京都新聞
竹の径 復旧急ピッチ 下旬の「かぐやのタベ」に向け	H30.10.3	京都新聞
向日神社の歴史学ぶ 市民ら、町の魅力再発見 地元で催し	H30.10.7	京都新聞
るるぶ「向日市」「大山崎町」改訂	H30.10.27	京都新聞
創建1300年祝う 向日神社で奉祝大祭 雅楽奉納 多くの参拝者	H30.10.29	京都新聞
向日のあゆみ 小中生ら作品で伝え 市文化資料館 古代衣裳や古墳模型展示	H31.1.10	京都新聞
新設上級部門68人挑む 向日市ふるさと検定 近代の設問 初登場	H31.1.21	京都新聞
文化財、火災から守れ 向日神社 乙訓消防など 防火デー前に訓練	H31.1.21	京都新聞
守り札整理 信仰に思い 向日・旧旅籠「富永屋」	H31.2.11	京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市が有する貴重な史跡、古墳や弟国宮に関する調査成果を活用した事業を実施するとともに、関連する講習会等を行った。また、戦略的なPR事業として、「～あなたの向日市がここにある～ここむこ向日市」を実施するなど、向日市の歴史を広くアピールすることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

